

ブータンの遊び歌ツァンモ — 学校教育における継承の取り組み

Tsangmo, playful singing dialogues of Bhutan: Inheritance activities in school education

伊野義博¹・黒田清子²・加藤富美子³・権藤敦子⁴・山本幸正⁵・
ツェワン・タシ⁶・ペマ・ウォンチュク⁷

Ino Yoshihiro, Kuroda Kiyoko, Kato Tomiko, Gondo Atsuko, Yamamoto Yukimasa,
Tshewang Tashi, Pema Wangchuk

Tsangmo is a type of playful singing dialogue that can be found in all regions of Bhutan. *Tsangmo* emerged from Bhutan's religious context and was fostered throughout its history and cultural climate. It is enjoyed as a pastime during breaks in grazing as well as on other occasions, such as when families gather for Buddhist memorial services. Bhutan's recent decades of modernization have, however, drastically changed the state of traditional *Tsangmo* and its transmission is becoming threatened.

On the other hand, *Tsangmo* is taught in many schools as part of traditional culture education or general education through Bhutan's national language of Dzongkha. *Tsangmo* tournaments are also frequently held.

This paper examines the current state of *Tsangmo*, with a particular focus on *Tsangmo* in school education. Along with outlining the form that *Tsangmo* takes in schools, with specific attention to the case of *Tsangmo* tournaments, the significance of and challenges for the transmission of *Tsangmo* through school education are considered.

The school discussed in this paper is Samtengang Central School, which is located in Nyishog gewog, Wangdue Phodrang Dzongkhag, Bhutan.

Tsangmo tournaments have a clear place in annual school activities and usually consist of competitions between houses (groups made up of students across different grades) within the school. The *Tsangmo* tournament that was observed was a competition between two groups, consisting of both males and females, in a format where one student sings to the other group and then one student from that group sing in response. This form of group competition is the same as the traditional *Tsangmo Cheyni* that has been observed in previous investigations. The tournament took place in front of a gathering of the entire student population of the school. On the day, there were forty-three calls and responses for a total of eighty-six songs. Students skillfully prepared three ancient melodies and were capable of responding swiftly to the questions from the other group. The content of the poetry

2015.10.26 受理

¹ 新潟大学教育学部

² 中部大学人文学部

³ 東京音楽大学音楽学部

⁴ 広島大学大学院教育学研究科

⁵ 国立音楽大学音楽学部

⁶ パロ教育カレッジ

⁷ ツァーガイド (フリーランス)

included both traditional texts and, in some cases, relevant improvisation. Additionally, the students were capable appropriately conveying the character of various songs such as *Nyen Lue* (“a song that is easy on the ears”) and *Dra Lue* (“fighting song”), greatly delighting the audience.

In this way, *Tsangmo* takes its place alongside other forms of traditional song and dance in the educational activities of schools in Bhutan. In schools, *Tsangmo* retains its traditional character while simultaneously undergoing changes as it is transmitted.

1. はじめに

ツァンモ (Tsamgo) は、ブータン各地に見られる遊び歌である。6音節4行の24音節を基本とした詩を一定の短い旋律に乗せて歌い合う。遊びの形態の多くは掛け合いの形式をもつが、歌による占いや自己の気持ちの歌い合いなど多様である。ツァンモはブータンの宗教的背景を母体とし、歴史と風土の中で培われ、放牧をはじめとした日々の労働の合間、あるいは親戚縁者が集まる法要などにおいて楽しまれてきた。

筆者らは、2010年以降、ツァンモについて、西部の中心地パロ、古都プナカ、中部のトンサ及び東部山間部のメラにおいて一連の調査研究を行ってきた (伊野2012, 伊野他2014a, 2014b, 2015a, 2015bなど)。その結果、ツァンモはブータン各地において広く伝承されていること、幾つかの共通した旋律を持つこと、地域性を持った旋律もあること、メラではカプシューと呼ばれる類似の遊びがあることなどがわかってきている (伊野他2015a, 2015b)。

しかし、ここ数十年におけるブータンの近代化の波は、伝統的なツァンモの状況を変容させている。機械化や安価な輸入品の増加により放牧の機会は減少し、皮肉にも学校制度の充実が子供達からツァンモの時間を奪ってきた (伊野他2014a, 2014b, 2015a, 2015b)。さらに、都市化による若者の流出により、ツァンモの機会は激減し、その伝承も危ぶまれている。

一方でブータンの多くの学校においては、伝統文化教育あるいは国語としているゾンカ (Dzongkha) 語の学習の一環としてツァンモを学ぶとともに、ツァンモ大会がしばしば開催されている。ツァンモは学校という場において、その形を変容しつつも伝統性を保ちながら継承されている。

こうした背景のもと、本稿では、ツァンモの現在、特に学校教育におけるツァンモに焦点を当てる。学校におけるツァンモの実態がどのようなものであるか、ツァンモ大会を中心にその詳細を記述する中で、学校教育におけるツァンモ伝承の意義と課題について考察する。

ここで対象とする学校は、ワンデュポダン県 (Wangdue Phodrang Dzongkhag) のサムテガン・セントラル・スクール (Samtegang Central School) である。学校への訪問は2015年9月18日 (金) 及び19日 (土) の2日間で、訪問前後必要な情報をメール、電話等のやりとりにより収集してきた。

2. 学校概要¹⁾

サムテガン・セントラル・スクールは、ワンデュポダン県のニイショグ (Nyishog) 地域に位置する。ワンデュポダンの町からサムテガンまで18キロである。チュゾムサ (Chuzomsa) からラフロードを走るか、テキィ・ザム (Teki Zampa) から徒歩で到達する。平坦な山頂にあるため、ワンデュポダンの町やゾン、ベジャ (Bjena)、プンユル (Phung Yul)、カズィ (Kazhi) の村々が見渡せる。2015年の生徒数739人、学年はPre-Primary(PP)から10年生までである。

キンレイ・ヤンゾム (Kinley Yangzom) 校長は、2015年に着任したばかりで、もともとの専門は英語である。神戸で開催された英語教育関係



図1 ブータン略図

のセミナーに招聘され、ブータンの英語教育事情についての講演経験を持つ。

生徒は、ポブジカ (Phobjikha)、ノディン (Nobding)、コトカ (Khotokha)、カズイ、プン・ユル、ギャンティ (Gangtey)、ニイショグその他の地域から入学してきている。敷地はおおよそ20エーカー (800平米) ほどである。校地には様々な魚や野鳥のいる美しい湖がある。

7～10年生からなるサムテガン中期中学校 (SMSS: Samtengang Middle Secondary School) は、7・8・9・10年生全18クラスを擁し、その内95%の生徒が寄宿生である。7・8年生は国連WFPの支援を受け、9・10年生は食費の給付を受けている。生徒はサッカーやバスケットボール、バレーボール、卓球、テコンドー、バドミントンなどのスポーツクラブに加入している。

文化的なクラブ活動も盛んで、ユネスコ、カルチャー、ゲームとスポーツ、ディグラム・ナムジャ (Driglam Namzhag) (礼儀作法)、美術工芸、科学、健康、GNH (Gross National Happiness: 国民総幸福量)、家庭科などのクラブ活動がある。学校はクラスやハウス (寄宿舎、縦割り集団) のコンペティションによっても、文学的・文化的な活動に生徒たちを引き込んでいる。

同校は、1962年に、ヒンディー語による地域運営の学校として設立された。初代校長は当時の教育省から任命されたM.M. ジョセフ (M.M. Joseph) で、二人のゾンカ語の教師とともに学校を運営した。最も古い施設は1964年に建設されたもので、現在、小学校の一部に使われている。1998年3月、木造校舎の建設とともに、前期中学校 (Lower Secondary School) に昇格し、PPから8年生までの規模の学校となった。同年、12棟の校舎が湖の近くに建設された。そこは現在オールド・ブロック (Old Block) と呼ばれる。

2008年に同校は中期中学校 (Middle Secondary School) に昇格、9年生および10年生が加わり、現在の学年構成となった。PPから6年生までの学年は、現在サムテガン小学校 (Samtengang Primary School) となっている新たな場所に移転した。折しもブータンの議会制民主主義が採択された年になる。

3. 学校における伝統文化活動とツァンモ大会

3.1. サムテガン・セントラルスクール

3.1.1. 概要

ここでは、訪問の概略とその背景にある学校における伝統文化活動の概要を述べる。

2015年9月18日 (金) 夕刻17時に学校へ到着し、17時30分から19時まで歓迎会が催された。その後、学校のゲストハウスに宿泊となった。夜の時間帯に歓迎会の設定が可能なのは、全校生徒739人中492人の生徒が寄宿舎で生活していることによる。

翌19日 (土) は、9時10分より全校朝会があり、生徒は、校庭のジャミアン (Jamyang: 学問、知識の神様、文殊菩薩) の前に集合し、エクササイズ、校長講話、シャプテン (Zhabten: 祈り) などが行われた。シャプテンは、今年が4代国王



写真1 集会でのエクササイズ (左手前がジャミアン)

の生誕60年にあたるので、それを祝って高僧により作られた讃歌で、全国の学校で今年一年間歌われる。ディルブ (Driibu: チベット仏教で使われる鈴) が拍をいれ、生徒は紙に書かれた歌詞を見ながら歌っていた。エクササイズは、パロ教育カレッジ (PCE: Paro Colledge of Education) 講師のツェワン・タシと国際協力機構 (JICA) のシニア海外ボランティアである杉原直との協力により2010年に考案された歌や踊りの要素を取り入れた体操である (Tadashi Sugihara, Tshewang Tashi, 2010)。これをパロ教育カレッジを卒業した教師が

指導をしていた。その後、9時25分から10時55分までがツァンモ大会となった。大会の後は、クラブ活動の見学と学校説明の時間が設定された。

学校における伝統文化教育は、例えばツァンモなどは歴史や国語であるゾンカ語の時間に扱われることもあるが、基本的には、教科外の活動の中で学ばれている。中でも、毎週土曜日は、クラブ活動の時間に当てられ、ここで文化的活動や体育的活動がなされている。サムテガン・セントラル・スクールの場合、歌や踊り、音楽に関するクラブは、①ジュンドラ (Zhungdra: ブータン固有の伝統的な歌と踊りで自由リズムの曲が多い)、②ベードラ (Boedra: チベットの影響を受けた歌と踊りで拍節的リズムの曲が多い)、③リクサル (Rigsar: インド、西欧等の影響を受けた現代的な歌や踊り)、④楽器 (伝統的な楽器であるダムニェン: Dramnyen, ヤンチン: Yangchenをはじめ、ピアノやギターなども含む) の4種4グループに大別される。これらに所属する生徒は115人で、全校生徒の約16%にあたる。学校行事や今回のような歓迎セレモニーなど、各種イベントにおいては、カルチャークラブ (文化系のクラブである) の役割は大きい。

これらカルチャークラブとは別に、クラスやハウス単位の活動も文化活動上重要である。学校には、4つのハウス・グループがあり、寺を守る動物にちなんで、タク (Tag 虎)・シン (Sing 冬ライオン)・チュン (Chung ガルダ)・ドゥック (Druk 竜) と名付けられている。年間の学校行事においては、クラスやハウス対抗の大会が位置づけられている。2015年度の場合、文化関係の大会には次のようなものがある (Samtengang Central School, 2015)。

4月4日: 歌唱大会 (Singing Competition), 4月11日: ハウス対抗ツァンモコンペティション (Inter House Tsangmo Competition), 4月25日: ハウス対抗カルチュラル・コンペティション (Inter House Cultural Competition), 6月6日: ゾンカ即興スピーチ (Dzongkha Extempore Speech), 8月1日: ハウス対抗ロゼ²⁾コンペティション (Inter House Lozey Competition), 8月8日: ハウス対抗クイズコンペティション (Inter House Quiz Competition), 9月5日: ハウス対抗リーディングコンペティション (Inter House Reading Competition), 9月12日: 英語によるディベートコンペティション (English Debate Competition)

このようにハウス・コンペティションやクラス・コンペティションなどが実施され、文化活動が盛んに行われている。これらを見るとゾンカ語や英語といった語学の力の育成とツァンモやロゼなど、伝統的文化の教育に重点が置かれていることがわかる。中には、保護者や村人にチケットを販売し、その収入を学校の基金にする大会もある。ハウス・カルチュラル・コンペティションでは、ジュンドラ・コンペティション、ベードラ・コンペティション、リクサル・コンペティションの3ジャンルが競われるが、こうした取り組みにより全校生徒が伝統的な歌や踊りを豊富に経験する仕組みが整えられている。

学校組織として、多種多様な委員会が設けられているが、その中のカルチャー委員会は学校になくてはならない部署の一つとなっており、学校のすべての文化的な業務に対して責任をもっている。またブータンの豊かな文化遺産を継承し生徒の特性を伸長すべく働きかけている。委員会の構成はゾンカ語教師1名とカルチャー・クラブの顧問2名である。その任務は、「ダンス、歌、ロゼ、ツァンモ等をカルチャー・クラブで教えること、各種バラエティ・ショーとコンペティション関連の行事を管掌すること、ブータンの文化と伝統を適応させること、ディグラム・クラブとともにディグラム・ナムジャを伝えること、活動場所の準備を調整すること、学校のすべての活動においてブータンの文化と伝統を標準として維持すること、カルチャー・クラブを運営すること」³⁾等である。さらに、各ハウスに配属される職員としてハウス・ペアレンツ (寮長・寮母) がおり、生徒に対して課外活動への参加を促し、各ハウス内における文化活動を含む諸活動のメンバー調整を行ったり、行事のためのハウス・ミーティングを組織したり、活動成果の記録をしたり、クラス担任にハウス・コンペティションにおける生徒の記録や参加状況を提出したりしている。

18日 (金) 夕刻に開催された歓迎セレモニーのプログラムでは、生徒によるジュンドラ、ベードラ、リクサルによる歌と踊り、土地の伝統的なジェム (Zheyim) という女性の歌と踊りなど、ブータンの伝統にかかわる多様な芸能が披露された。これらを演じたのは、それぞれコンペティションで優秀な成績をおさめたグループである。

3.1.2. ツァンモ大会

3.1.2.1. 概要

19日(土)午前9時25分よりツァンモ大会が開催された。学校暦による大会は4月であるが、今回日本からの参観ということで、特別に大会を設置したとのことであった。学校の講堂に全校生徒が集められ、ステージには、男子生徒4人、女子生徒5人の2つのグループが対面して座っている。これらのメンバーは募集に応じたもので、当初20人の希望があったところを10人に調整、当日は、男子生徒一人が病欠となり、9人での対抗となっていた。メンバーの舞台上の配置は、図2及び写真2のような形である。

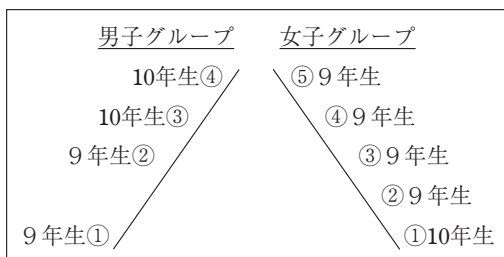


図2：ツァンモ大会の配置



写真2：ツァンモ大会の配置

このツァンモ大会について、学校側の説明をまとめると以下ようになる。

- ・ツァンモは、教科としての扱いはなく、コンペティションの前には、わずかな時間ではあるがゾンカ語の授業において詩についてのポイントを教えている。
- ・今日の生徒は、ツァンモの歌詞を紙に書いて準備してきていた。歌詞には、①図書館にあるツァンモの本から選択したもの、②親に習ったもの、③先生に聞いたもの、④自分でつくったものなどがある。
- ・ツァンモ大会の構成は、詩の性格により次の3つに分けられる。今回の場合、この3つについてそれぞれ15ぐらいの歌詞を準備するように生徒たちに伝えた。そうすればある程度対応できる。なかには即興でつくった歌詞もあった。
 - ①ニエン・ルー (Niyen Lue: 耳に心地よい歌。Niyenは、仲良くなる、耳に聴こえるいいこと、Lueは歌。)
 - ②ダ・ルー (Dra Lue: 喧嘩の歌。Draは、喧嘩、敵。)
 - ③ダニエン・バルマ (Dranyen Barma: ①②を混在させたもの。Barmaは、真ん中の意。最後は仲良くなるようにあるいはCompromising (譲り合い、妥協) するようにと生徒には話している。)
- ・ツァンモ大会に出なくても成績には関係ないが、学校行事への参加は全部、個人の生徒手帳 (School Diary) に記録しておく。
- ・優秀な子は他の県の大会にも出るチャンスがある。

3.1.2.2. 実際

以下、大会の様子を歌詞とともに記す。それぞれの歌詞の冒頭には、(1)-女①Bのように記号を付した。(1)は通し番号、女①は性別と各生徒の番号(図2参照)、Bは旋律の類別である。今回の大会では、A, B, C 3種の旋律が用いられていた(後記旋律A, B, C)。これらは様々なヴァリエーションにより歌われる。また、やりとりの前後で教師の説明が入るが、これはT1, T2という形で示した。1,2の数字は教師の発言回数である。なお、ゾンカ語が聴き取れない部分に関しては、空欄となっている。また、歌詞については、一部解釈例を付した。同じ歌詞・フレーズの繰り返しについては、×2のように示している。なお、歌詞のローマナイゼーションと日本語への翻訳は、バマ・ウォンチュクによる。大会は、まずは教師の次の話から始められた。

T0: ツァンモは外国にない遊びの習慣です。モタプニ(Motapni)というやり方がある、これは二人の間、つまり彼と彼女に結婚の縁があるかどうか、友達同士の縁があるかどうかということを(歌いながら棒で指

して) 占います。棒のことをツァン (Tsang), 占いをモタプニ (Motapni) といいます。それでツァンモと言うようになりました。ツァンモの詩は4行6音節です。詩の内容には、ダ・ルー、ニェン・ルー、チョ・ルー (Cho Lue: 自分のことについての歌), など種類があります。ツァンモは若い男と女のナムケ (Namkey: 縁) があるかどうかを占うこともあります。牛飼いをする時もツァンモで遊びます。私たちの大昔からの遊びです。とても大事な遊びですし、学校でも大切にしています。それで、学校ではコンペティションを開催しているのです。(拍手)

また、ツァンモは歌を交換しながらすることが多いです。このように2つのグループで短い歌を掛けて、ツァンモが始まります。それでは女性の方から始めて下さい。

(1)-女①B

Choe ni jam tshoo la faka	あなたは海の向こうにいます
Nga ni jantsho tsuka	私は海のこちらにいます
Ley dang mi lam yoe na	もし運命があるのなら
Jamtshoo la bu la zom sho	海の真ん中で会いましょう

解釈例: 海を隔てたような二人の間, もし運命がチャンスを与えてくれるなら, 会う事ができるでしょう。

(2)-男③B

Kham bu khalu zhim ba	桃の実食べてもおいしい
Meto mila ze ba	花を見てもきれい
Kham shing shiggi tsa wa	その桃の木の下に
Zha shi ney ru gaway	一泊とまってもいいなあ

(3)-女②A

Doma kham to la chi gi	ドマはひとつだけ
Za na nga ya la ma do	ひとつ自分だけでも足りない
Ga na choe yang lo sho	もし好きならきてください
Nga che ni bey za gey	一緒に食べましょう

(4)-男①B

Den chu kha ga dru zhi	小さい四角の座布団
Doena rang yang ma lang	自分が座っても足りない
Ga na choe yang lo sho	座りたかったら来てください
Dong ko chap di doe gey	向かい合って座りましょう

T1: 最初歌った人(1)は、縁があったら会いましょうとっています。次の人(3)は、一緒にいるだけでなく、ドマも一緒に食べましょうと返しています。

(5)-女④B

Sem dha sem ni thuen ba	心から好き, 心と心が合いました (好きになりました)
Yab yum ka ge ma nang	お父さんお母さん, 別れろと言わないでください
Sha dna sey mo ni ku	指の肉と爪の (この二つは)
Drey wa drey sa mindy	絶対離れることはできません

(6)-男②A

Choe zhel karsel la dawa	あなたの顔は月のように白くてきれい
Ling zhi korwa la ma jung	四方にでかけないでください

Yar gi lha ye zhing kham 天上の天国のような平和な所へ
Tey mo ta wa ju gey お祭りを見に行きましょう

(7)-女⑤B

Choe ni sergi bum ba あなたは金でつくったブンバ
Nga ni maja dang dru 私は孔雀に似ている
(Ley da mi lam yoe na もし縁があったら
Choe sham tramo zom gey) × 2 仏間で会いましょう

(8)-男④B

Yar gi gang gi bar na 上の山の間から
Khar sel dawey kil khor 白くてきれいな丸い月
Tha ye jang la yoe ru 遠くにあるけど
Nge sem choe lu shor song 私の心はあなたを好きになった

T2：女性の方(5)からは、二人はお互いとても好き、でも親が心配、断わらないようにしてほしいとってます。男性(6)からは、なにがあっても私には貴方しかいない、一緒に結婚したいとっています。

(9)-女③A

Nge ye milam la na lu 私の夢の中
Bu tsu choe ra thong mey 男のあなたがいつもみえる
Nge ye milam di ley 私のその夢から
Tsho ni miru ga way さまさないてください

(10)-男③B

Ja chi nam la fu song 鳥は上に飛んでいきました
Gondo sa la lue song 卵は下にあります
Ja mo damtsi yoe na もし鳥がたまごに会いたいなら
Gondo yae khor chap sho 卵は右回りにまわってください

(11)-女⑤C

Gongtey go mi khor di mo ya 私は山から谷まで
Lo dang daw yang song ye mo ya 何年も何カ月も行って
Thri do nimi zhey re mo ya 丘の太陽が
Dari ma to ma jey mo ya やっと今日だけ見えた
Yue thoe yue mi kho di mo ya 山の村から谷の村までも行って
Lo dang daw yang song ye mo ya 何年も何カ月も行って
Ta sha choe gi zhey re mo ya 丘に若い男が
Dari ma to ma jey mo ya やっと今日だけ見えた

(12)-男④C

Choe zhel dren bi wang gi mo ya あなたの顔を見たくて
Nam khai dawa shar tsey mo ya 空に月がでてくると
Dawa choe zhel thong di mo ya あなた 月を見たら
Nam lu fu gop jung song mo ya 空に飛びますよ

解釈例：私はあなたの顔がみたい、月のようなあなたに会いたくて、私は空に飛んで行ってしまふ。とても

恋しい。

T3：((12)は)自分が一番好きな人に、会うことができたらもちろん幸せ、絶対嬉しい。けれどもそうじゃなければ夢にみただけでも幸せです。私は本当にあなたのことを好きだから、あなたのそばに行きますよと歌っています。

(13)-女②B

Gey chey dar gi du phi

シルクの布で結んだ結び目

Rimo druk ri kha tha

竜の模様が描いてある

Gey chey re di bey rung

シルクの布破けても

Rimo ye sa mindu

模様は消えない

解釈例：私はどのようになっても、死んでも心はあなたのことだけが好き。気持ちは揺れません。

(14)-男②A

Rang sem thuen bi la bu mo

自分が心から好きな女

La dha lung gi la che di

山の向こうの谷（遠く）にいるけれど

Nye sem choe nyel di

私の心はあなたを思って眠る

Milam na jong sho

夢の中にきてください

(15)-女①B

Nyoe su che ni mi pa

直接会うことができないまま

Lo dha dawa jo ru

何年何月

Nga dha che ni mi pa

私と会ってないけど

Sem kha lhang lhang lren do

いつも心から思ってます

(16)-男①B

Choe ni ser sho meto

あなたは黄色い花

Nga ni chukar meto

私はのりびえだいおうの花

Ley da mi lam yoe na

ご縁があったら

Choe sham thramo zom gey

仏間で会いましょう

T4：二つのグループで自分が感じているフィール・オブ・ラブを交換しています。ツァンモのメロディも一つだけでなく、二つ三つくらいあります。

(17)-女④B

Nyamjur ze bi tasha

性格のいい男

Ga zum ley bi zhel rey

笑顔のいいお顔

Sung key lhang lhang go tsey

声をどんでん聴くと

Nyesem choe lu sho song

私の心はあなたを好きになった

(18)-男③B

Zimchung zecha nang ley

家の窓から

Zhel rey kilkhoro jey tsey

うつくしい顔が見えた

Tse che cho ni dawa

満月が

La ley sha do zum bey

山の上からでてくるのに似てる

(19)-女③B

Zi zi chen gi zi da	見る目でみてください
Kha ze nang lu ley bey	
Chen gi zi di ma zha	目で見るとをやめないでください
Dro ram zey ba jon sho	手伝いに来ててください

(20)-男②A

Phagi pang la zhu bi	離れた平な所に
Khado ley bi la meto	きれいな色の花
Nang di chago noe ru	私はその花を切りたいけど
Troe bi rang wa mindu	触れるチャンスがない

(21)-女⑤B

Choe zhel kumi karmo	あなたはクミカルポ（白い花の名前）
Thong na sem pa ga wa	一回見ただけで心が幸せです
Ta na mi lu ja wa	また目で見てもきれいでした
Dum ra ze bi gencha	きれいなものが庭の飾りになります

(22)-男④A

Choe ni sergi la zul ki	あなたは金の指輪
Nga ni nulgi la zul ki	私は銀の指輪
Ley da mi lam yoe na	ご縁があったら
Zimo bu lu zom sho	指の真ん中で会いましょう

(23)-女①B

Choe ni tasha zhenpa	あなたは若い男
Nga ni menchung bu mo	私は若い女
Ley da milam yoe na	縁があったら
Khang za tramo zom gey	一つの部屋で会いましょう

(24)-男③B

Thong na milu jawa	目で見てもきれいです
Nyen na sung key han ba	耳できいてもきれいです
Sam ya sem ya ga wa	思えば心から嬉しい（幸せ）
Choe ley lhadi gop mi	あなた以外にいない

(25)-女⑤C

Jatshoen khado ley rung mo ya	虹の色はきれい（けれども）
Ten cha doe wa mindu mo ya	いつもあるわけでない
Mi gi ta wa ma tse mo ya	目で見て終わるだけではなくて
La ba len ni yoe rung ga way × 2	手で持つことができたら嬉しいなあ

(26)-①男C

Gang gi tsang chu ya la nyogo	山の川
Thung na kha kum ya la sel yong	飲んだらすっきりした
Yewong lhamo ya la ku lu	きれいな女のからだに

Re na na zu ya la sel wa

ちょっと触ると病気が治る

(27)-女④B

Nyam khai ja tshen zo ni

空の虹みたいに

Kuzu kha do ley pa

からだの色がきれい

Pewang dra ley hen bi

二胡の音よりいい

Sung key nimo lhang lhang

あなたの声がどンドン聴こえる

(28)-男②A

Ya gi rimo tse ley

山のとっぺんで

Dharshing karmo thong tsey

ダルシン（白い旗）が見えた

Dharpa lung gi yap tsey

旗が風でゆれる

Darshing in rung ga way

自分がダルシンだったらいいなあ

(29)-女③A

Kar yuel kar sang la chi lu

白いお椀ひとつに

Rimo trashi ladar gey

八つの吉祥紋の絵

Karye cha na ma to

お椀が壊れなければ

Rimo yel sa mindu

模様は消えていきません

(30)-男④A

Choe ni etho la metho

あなたはしゃくなげ

Nga ni sersho la metho

私は黄色の花

Ley dha mi lam yoe na

縁があったら

Choe sham thramo zomgey

仏間で会いましょう

T5：((29)は)自分が死んでも私の心はあなただけしか思っていないという意味です。お椀が割れても模様が消えないのと同じです。((30)では)二つ違う種類の花だけれど、それをもってお寺にお供えするように、ひとつのブンパ（聖水入れの瓶）に入れて、仏壇にお供えするようにしましょうと歌っています。

(31)-女②B

Khaza thram chi lu

一つの部屋

Rimo ja da tsa gey

108の模様

Rimo yel ni yoe ru

模様が消えていくけど

Khaza jur sa min du

部屋はかわらないです

解釈例：あなたはかわっても、私はかわらない、あなただけです。

(32)-男①B

Meto thong rey thong tsey

いろんな種類の花を目で見る

Ngi gi mi lu mi ja

私の目で見るときれいじゃない

Menchung yoe rey yore tsey

女がいっぱいいても

Ngi gi charo mi tup

私の目で見ると友達にも彼女にもならない

T6：（ここでこの先生が日本側を歓迎するツァンモを歌い、伊野がそれに応えるツァンモが入る。その後、生徒たちのツァンモが再開された。）

T6(1)B

Choe ni che gel japan	あなたは外国日本
Nga ni drukgi mi ser	私はブータン人
Ley da mi lam yoep ley	縁があったので
Sam tey gang lu zom chi	サムテンガンで会いました

伊野 A

Choe nijamtshoo la faka	あなたは海の向こう側にいます
Nga ni jamtshoo la tsuka	私は海のこちら側にいます
Lay dang mi lam yoe na	もし運命があるのなら
Jhamtshoo bu lu zom sho	海の真ん中で会いましょう

(聴衆から歓声があがる。)

(33)-女③A

Ka lu za ru za zey	口に食べるものあっても
Zhim bi zey chi men bey	おいしいものがない
Tasha che rey che tse	いろんな男と会っても
Nyendro tup mi mindu	彼氏になれるような人がいない

(34)-男②A

Kuzu la ley la ze bey	すごいきれいなからだ
Yewong sem gi nor bu	女の人
Kha gi dam tsi sung ru	口では私は違う(浮気しないとか)と言うけれど
Lue gi sung ni min du	実際からだは守ってないです

(35)-女①B

Jana ting ley thoen pi	インドの南の方から持ってきた
Ser ku chana dorji	金の金剛菩薩像
Choe ni jin lap che ru	それがパワーをもっている
Nga ni cha wang mi zhu	私は五体投地しません

T7: あなたは口で何でもいうことができるけど、でも実際何もできません。お金持ちでも、知識があっても勉強ができて、私はあなたを必要としません。

(36)-男③B

Nang zung mi pi choe ten	宝物入れのない Cholten
Kora nga gi mi chap	わたしはまわりたくないです
Dha dap mi pi dashing	旗のない Dalshin
Lung gi yap sa min du	風でゆらすことはできない

Choe na lu zom bi menchung	あなたここにいる女たち
Rang ley lep di mi ru	よりきれいな人がいるけど
Choe damtsi sung ni mi ba	あなたが浮気するから
Nyendro tup tup ma dra	(私の) 彼女にすることはできない

(37)-女⑤B

Ngori rang lu mi pa	あなたたちはだれも良い顔していない
Zhen lu mentap ma shey	他の人の悪口言わないでください
Kha ye di pa sa di	悪い功德が積まれてしまい
Di pa shapa ka wang	後悔したとき大変です
Zhen nyam koen yoe ma sung	他の人の悪い所について言わないでください
Rang zhi rang gi mi thong	自分の悪いところみえないけど
Zhen na thong la phu wong	他の人にはみえています

(最初の二行で聴衆から笑いがおこる。)

T8: ((36)は) あなたは女、どんなにきれいでも浮気をする。太陽が出てきたら、太陽のほうを向いてしまう、月が出ると月のほうを向いてしまう、そういう人ですと歌っています。また、((37)は) 本人が生活のマナーがよくないのに他人のことは言わないでください。他人の悪口いうためには自分は完璧にならなければなりませんといっています。

(38)-男②A

Thong na dro ra dro bey	目で見えるだけでこわい
Doe na tse so che bi	一緒にいると殺される
Tey nyan shaza khandro	悪い女神さまシャザ・カンドル
Agay chi lu phul gey	おじいさんにあげます

(39)-女②B

Zeshel dwa nga ni	月のような顔をもつ私
Ga zum shoe lu mi toen	あなたに笑顔をみせたくない
Rang sem hing ley ga we	私の心の中から好きな人を
Nyam ro zhen lu toen ni	他の人にみせたくない

(40)-男①B

Nga di ngo ri lhag di	私はすごくかっこいい
Nga ni serku dra doe	私は金の仏像に似ている
Jur no long che yoe na	女のほうがお金もちだったら
Angay in ru tup bey	年寄おばあちゃんでも大丈夫です

T9: 私たちは反対の気持ちをうたうダ・ルーを続けましょう。

(41)-女④B

Tasha thramshey chapa	いつも町にでかけてる (遊んでる) 若い男 (でも)
Sem chi sho gop min du	好きになりたくない
Nam chi yue shey chap da	たまに村に来て
Mi to zu gi mi du	ちらっとでもみたくない (それくらい嫌い)

(42)-男④B

Kuzu jurwa yoe rung	からだは変わっていくけど (かわることできるけど)
Sung key jurwa min du	声はかわらない
Gu kor khe pi men chung	人をだますのが上手な女
Tshong pa chi lu phigeey	ビジネスマンにあげます

(43)-女①B

Gang da khawa mi pa
Singay karmo mi ku
Choe lu yoenten mi pa
Menchung bumo gi mi ku

山に雪がなかったら
雪ライオンはこないでしょう
あなたに知識がないから
若い女もこないでしょう

(44)-男③B

Dari nang bi menchung
Nyun ley damtsi mi zang
Ro gi map ra ku di
Ta ma tey tha re wong

今の（最近の）女の人たち
最初は浮気しない人が浮気する人になる
他人の旦那をどろぼうして
いつか（奥さんに）棒でなぐられるよ

T10 : ((41)では) 心から嫌いだといっています。

(45)-女③B

Rang gi zo di ma shey
Zhen lu mi ja la mey
Lom da mi pi shing lu
Gi ma thup sey ma lap

あなた自分のいいところないのに
他人に悪口言わないでください
葉っぱのない木
影ができると言わないでください

(46)-男④B

Mechung lha ye se mo
Re wa nga lu ma nang
Lo da na tse gey na
Agay chi ley mi top

天国の神様の娘さん（くらいきれいだけどあなたは）
私は（あなたを）好きとかほしいとか思わない
あなたはどンドン年をとると
年寄おじいちゃん一人しかもらえない

(47)-女⑤B

Tsenyen milam yoe na
Agay in ru tup bey
Cha gi sera in ru
Ley koe min na mingo
Lhaye sera in ru
Ley koe min na mingo

ご縁があれば
おじいちゃんでもいいです
あなたが金でも
ご縁がなければいいです
天国の息子さんでも
ご縁がなければいいです

T11 :

(48)-男③B

Dari nang bai menchung
Dong ya drey zum zo song
Sem ya drey zum zodi
A zai nga di drop mey

最近の女の人たち
顔が悪魔に似ている
心も悪魔みたい
こわい私はもうこわい

(49)-女④B

Nyamja thuen pi chu lu
Takpa tenpa min du

夏にでてくる水は
安定してでてこない

Nazhen bu gi sem lu 若い男たちの心は
Takpa tenpa min du 変わりやすい

(50)-男②A

Khatsa rang gi la in ru 昨日は私のものだったけど
Dari ro gi la in bey 今日とは違う人のものでした
Ten ten mi bi bu mo いつも変わりやすい女
Ni ma gang sha in bey sa ひまわりの花ですね

(51)-女②B

Pha ri pang gi lo ley 離れた平の所に
Shawa ya dro ma dro 鹿が上にいったり下に行ったり
Yadro tsa ya ma za 上にいっても草も食べない
Ma dro chu ya mi thung 下にいっても水ものまない
(よく知られた歌詞か、後半二行聴衆が一緒にうたう。)

(52)-男④B

Meto pema mi na 蓮華の花がなかったら
Sebjam sempa mi ki 蜂の心に平和はない
Tasha zhen pa mi na 若い男がいなかったら
Menchung sempa mi ki 女の心に平和はない

(53)-女①B

Wo dra tho we zar chu 水道の水の高く怖い音
Jamtsho ting lu mi hue 海の深い所につかない
Hamsha chengi tasha 何でもできると言う人
Thanju lam lu mi hue 目的地につかない

T12:今ツァンモをしている間に、他の人で興味のある人いませんか。先生の中でもないですか。マダム・タキ先生、来てください。ソナム・ドルジ先生、来てください。先生二人が来る間ツァンモを続けましょう。

(54)-男①B

Gang da khawa mi na 山に雪がなかったら
Singay karmo mi phu 雪ライオンは来ない
Choe lu yoenten mi na あなたに知識がなかったら
Tasha choe lu migo あなたのような男はいらない

(55)-女②B

Tsu na sergi zu ki 金の指輪
Ma tsuen nyen gi zu ki でなければ銀の指輪
Ten nyan ra gi zu ki 不要な鉄の指輪
Da la goe pa min du 私はいません

(56)-男③B

Juna na sergi zu ki あるなら金の指輪
Ma jun nyen gi zu ki なければ銀の指輪

Ra gi zu che in ru 鉄の指輪しかなくても
Rong da dhone da ley bey 自分にとっては意味があります

T13 :

(57)-女⑤B

Juna ser gi zu ki 金の指輪があれば (本当はそれがほしいけど)
Tsu pa choe lu min du でも (金の指輪を) あなたはもっていない
Tey nyan ra gi zu ki 悪い鉄の指輪を
Matsuen thap ra min du 下二行×2 (あなたは指に) 入れるしかないでしょう

(58)-男①B

Pha gi pang gi bu ley 遠い平らなところの真ん中に
Shawa yan dro man dro 鹿が上にいたり下にいたり
Juk tit tawa sum da 走って見に行ったら
Shing gi dung po in bey 太い木でした

(59)-女④B

Meto lha lu phil di 花を仏様に供えました (好きな男にあげる花)
Choe ni rewa na ma nang あなたは花をほしいと思わないで
Nye zu ga we bu lu 自分が一番好きな男に
Ga dang tse we gencha それをあげますから

(60)-男④B

Gang gi etho metho 山のしゃくなげ
Ga gi tro ru tro gey 誰が触ってもいいですよ
Menchung bu mi zu kshi 女のからだ
Ga gi tro ru tro gey 誰が触ってもいいですよ
解釈例: たくさんあるしゃくなげ (女性) を切っても触っても誰も何も言いません。

(61)-女③B

Thrung thrung kang pa ring ru 鶴の足が長くても
La chen gey ni miitsup (足で) 高い山を超えて行くことはできません
Ngageyl che wi mi lu いつも一番だと思っている人
Sem ki zhi dey mi jung 心の平和はできません

(62)-男②A

Thari jang ley la tana 遠くからみると
Lha gi bum ra yoen dra 天国の娘さんのように見えた
Ta we dong kar hoe tse 近くからみると
Dre gi bum ra in na 悪魔の娘さんだった

(63)-女①B

Dappo mi pi ro chi 飼い主のいない犬
Doe sa ten ten min du いつもいるところが決まっていない
Nyen dro mi pi bu tsu 彼女・奥さんのいない男

Zhu sa ten ten min du 　　いつもいるところが決まっていない

(64)-男③B

Ja mo tseri khilkhor 　　チェリ・ゲルコリという鳥が
Gondo tsi da ma doe 　　自分の卵の話ばかりしている
Rimo ley ru ley key 　　その模様がどんなきれいでも
Nga ni go sa min du 　　私はいらないます

T14：二人の先生がここにいらっしやいました。二人がツァンモをやります。どういうツァンモを歌うかは知りませんが、その二人をここに呼ぶために私が歌いましょう。

T14(2)-A

Shacho dri za la karmo 　　東のほうで白いものが見えた
Karmo bey ley la jambey 　　その白いものはやわらかい羊の毛だった
Karmo bey ley jamcha 　　その羊の毛がどんなにやわらかくても
Lue lu gen ju mindu 　　自分は着ることができません

二人の先生のツァンモ (Mr. ソナム・ドルジ, Ms. マダム・タキ)

T15(3)-Mr.A

Choe ni ser gi la bumpa 　　私は金でつくったブンパ
Nga ni nyuen gi la bumpa 　　あなたは銀のブンパ
Ley da mi lam yoe na 　　縁があつたら
Choe sham tramo zom sho 　　仏間で会いましょう

T16(4)-Ms.A

Jam tsho ting ley la thuen pi 　　海のずっと下から
Norbu dungkar la yel khil 　　宝石のような法螺貝
Chi la kaka dang song 　　外からみても真っ白だった
Nang la sung key hen bey 　　中にはとてもいい音があります

T17(5)-Mr.A

Phari pang gi la loe ley 　　離れた平の所に
Shawa yang dro la man dra 　　鹿が上にいったり下に行ったり
Yan gi tsa ya miza 　　上にいっても草も食べない
Magi chu ya mi thung 　　下にいっても水ものまない

T18(6)-Ms.A

Pha gi pang gi la lo lu 　　少し離れた所
Gu chi pub go la sam yoe 　　テントをはりたいけれど
Gu shi tra ka tro ka 　　梁がゆれるので
Gu chi pub go ma dey 　　テントがはれません

T19：この二人の関係はとても大変です。それで私が二人を仲良くするために、歌を入れます。

T19(7) -A

- Shasho ri ye tse ley
Karsang dawa la sha song
Karsang dawa ma rey
Tsenday lamey zhel rey
東の山の上のほうで
お月さまがでてきている
お月さまではなくて
お坊さんの顔だった
- (65)-女②B
Choe di la mi wo ley
Gosha chi ra nang dey
Tasha zhuen mi bu ley
Zo di choe la nye pey
あなた
若い男の中で
あなたが一番カッコ悪い
- (66)-男③B
Dari nang pai menchung
Sa ka siki ma bey
Nyen dro jab kha zha di
Thrilko ney ra ma thoen
最近の女の人たち
(男性を誘うような) そんな歩き方しないで
自分の奥さん(彼女)が裏にいると大変
他の人にみせないでちゃんとしてください
- (67)-女①B
Tak pa yoe pi bana
Zhim bi rey wa ma key
Nyendro chen gi bum lu
Tro ni rey wa makey
食べてはいけないもの
おいしくなると(食べたいと)思わないで
彼氏(旦那)がいる女の人に
声をかけたいと思わないで
- (68)-男②A
Kuzu lha ley la ley bey
Thusam dre ley la nyel bey
Yueltro lhamo in ru
Jey ni rewa ma key
天国の人より美しい
でも考え方は悪魔より悪いです
あなたがすごくきれいな人でも
私はみたくありません
- (69)-女③A
Meto mi pi zhel ley
Dre bu re wa ma key
Dam tsi mi bi mi lu
Nyendro rewa ma key
花がない木から
実がなってほしいと思わないでください
浮気する人は
彼氏(旦那)を欲しいと思わないでください
- (70)-男④A
Hampa tho we la mo sar
Tendro zhen gi ma khor
Lo da na tse gey ru
ku chang bey rang zhu na
自己中心的な女の人
絶対彼氏(旦那)をもらえない
どんだん年を取っていったら
独身のままになる
- (71)-女④A
Damtsi yoe pi la pho ley
Ga we nyendro la in rung
Dro pa namche ni lang di
Josa zhen lu in pey
自分が絶対浮気をしないと思う男が
自分が一番好きな人だけでも
朝になると
行くところが違うところ(浮気をする人)でした

(72)-男①B

Lhasa bagu chi nang
Sha chi tshong ni du ba
Sha lu tsi lu min du
Gong ya tho ya tho way

ラサの小屋の中で
肉を売っていた
肉があまりよくない
値段が高すぎます

(73)-女⑤B

Sen chi tasha zhen ma
Nyen chi tasha zhen ma
Dari di na zom mi
Lekshum bey ra sen na
Choe ley tse wa min na
Nga ley rewa mi mey
Tse da rewa mi mey
Lo ju ma ma dra bey

よく聞いてください、男たち
聞いてください、男たち
今日ここで会うのは
またよく聞いてください
あなたが私にやさしくしなかったら
私もあなたを欲しいと思いません
それで、やさしい（気持ち）をもっていない人
そういう人と私は長く話したくありません

(74)-男③B

Dari nang bi menchung
Nyendro go ni rewa gi
A zai nga di ma tro
Jab kha nyendro yoe go

最近の女たち
彼氏（旦那）を欲しいと思ってる
私に声をかけないで
裏側に自分の好きな人がいるよ

(75)-女①B

Choe ni khasha dra dum
Nga ni geyshey dra dum
Chi kha tsenigay no wo
Ja ja draw ra min du

あなたは木綿のはぎれ
わたしはシルクのはぎれ
一緒に縫いたいけど
あまり合いません、縫えません

(76)-男④A

Lhasa throm ley la thuen bi
Dri ri doma la chop gey
Na hin mi chi se chi
Da ru sego noe do

ラサの町の中で
長いナイフを買いました
去年も一人殺した
今年もまた殺したい

T20: 人のことを嫌いという（ダ・ルー）ツァンモはこれで終わります。譲り合い、歩み寄りの歌に入ります。

(77)-女①B

Tensha khanza tramo
Zom bi loptsu pho mo
Gawa ki bi du tse
Sem ley nyam yang mi jey

たまにこのキレイな部屋の中で
男女の学生が会う
幸せと平和の時間
心から一生忘れません

(78)-男①B

Rang jung shel gi pho drang
Thongdrel deshey choeten

お寺の名前ランジュン・セルギ・ボダン
そこにトンドル、デシ・チョルテン

表1 ツァンモ大会の構成

順番(歌・踊)	性別	位置	服装種類	ツァンモ種別	備考
1	女	①	B	nivan lue	
2	男	②	B	nivan lue	
3	女	③	A	nivan lue	
4	男	④	B	nivan lue	
先生(1)					
5	女	⑤	B	nivan lue	
6	男	⑥	A	nivan lue	
7	女	⑦	B	nivan lue	
8	男	⑧	B	nivan lue	
先生(2)					
9	女	⑨	A	nivan lue	
10	男	⑩	B	nivan lue	
11	女	⑪	C	nivan lue	
12	男	⑫	C	nivan lue	
先生(3)					
13	女	⑬	B	nivan lue	
14	男	⑭	A	nivan lue	
15	女	⑮	B	nivan lue	
16	男	⑯	B	nivan lue	
先生(4)					
17	女	⑰	B	nivan lue	
18	男	⑱	B	nivan lue	
19	女	⑲	B	nivan lue	
20	男	⑳	A	nivan lue	
21	女	㉑	B	nivan lue	
22	男	㉒	A	nivan lue	
23	女	㉓	B	nivan lue	
24	男	㉔	B	nivan lue	
25	女	㉕	C	nivan lue	
26	男	㉖	B	nivan lue	
27	女	㉗	B	nivan lue	
28	男	㉘	A	nivan lue	
29	女	㉙	A	nivan lue	
30	男	㉚	A	nivan lue	
先生(5)					
31	女	㉛	B	nivan lue	
32	男	㉜	B	nivan lue	
先生(6)歌(1)					
伊野					
33	女	㉝	A	dra lue	
34	男	㉞	A	dra lue	
35	女	㉟	B	dra lue	
先生(7)					
36	男	㊱	B	dra lue	前声
37	女	㊲	B	dra lue	
先生(8)					
38	男	㊳	A	dra lue	
39	女	㊴	B	dra lue	
40	男	㊵	B	dra lue	
先生(9)					
41	女	㊶	B	dra lue	
42	男	㊷	B	dra lue	
43	女	㊸	B	dra lue	
44	男	㊹	B	dra lue	前声
先生(10)					
45	女	㊺	B	dra lue	
46	男	㊻	B	dra lue	
47	女	㊼	B	dra lue	前声
先生(11)					
48	男	㊽	B	dra lue	
49	女	㊾	B	dra lue	
50	男	㊿	A	dra lue	前声
51	女	㋀	B	dra lue	
52	男	㋁	B	dra lue	
53	女	㋂	B	dra lue	
先生(12)					
54	男	㋃	B	dra lue	
55	女	㋄	B	dra lue	
56	男	㋅	B	dra lue	前声
先生(13)					
57	女	㋆	B	dra lue	前声
58	男	㋇	B	dra lue	前声
59	女	㋈	B	dra lue	
60	男	㋉	B	dra lue	
61	女	㋊	B	dra lue	
62	男	㋋	A	dra lue	
63	女	㋌	B	dra lue	
64	男	㋍	B	dra lue	
先生(14)歌(2)					
先生(15)歌(3)					
先生(16)歌(4)					
先生(17)歌(5)					
先生(18)歌(6)					
先生(19)歌(7)					
65	女	㋎	B	dra lue	
66	男	㋏	B	dra lue	
67	女	㋐	B	dra lue	
68	男	㋑	A	dra lue	
69	女	㋒	A	dra lue	
70	男	㋓	A	dra lue	
71	女	㋔	A	dra lue	
72	男	㋕	B	dra lue	
73	女	㋖	B	dra lue	
74	男	㋗	B	dra lue	前声
75	女	㋘	B	dra lue	
76	男	㋙	A	dra lue	
先生(20)					
77	女	㋚	B	(compromise)	
78	男	㋛	B	(compromise)	
79	女	㋜	B	(compromise)	
80	男	㋝	A	(compromise)	
81	女	㋞	A	(compromise)	
82	男	㋟	B	(compromise)	
83	女	㋠	B	(compromise)	
先生(21)					
84	男	フロア	ロゼ		作った歌
先生(22)					
85	女	㋡	C	dranben barma	手拍子
86	男	㋢	C	dranben barma	
先生(23)					

Mi lu tra lam thong tsey
Nge sem di lu sho song

私はそれを見ると
私の心はそれを好きになっちゃう

解釈例：あなたのからだは、ポダンのよう。あなたの心は、トンドル（大掛仏画）のようにきれい。あなたをみると好きになってしまう。

(79)- 女④B

Ka ni dawa ka rung
Dro ni nimra dro way
Dawa thugu ma tsu
Nim mi chachi zhu gey

白さや明るさは月のほうが明るい
あたたかさは太陽のほうがあたたかい
お月様、申し訳ないけど
私は太陽と一緒にいきます

(80)- 男④A

Choe zhel kar sel la dawa
Lin cho zhen lu la ma song
Ku in karmo nga yang
Nga zu choe lu tengey

あなたのお顔はお月さまみたい
違う方向にいかないでください
私は白い仏塔（仏像）
その中に入れるモノをあなたからください

(81)- 女③A

Wongpo gon nga tsang di
Mi ley rinchen la top da
Na zhen gawe ga tro
Nyam chi ju gey me na

障害がなにもない
この人間の世界に生まれて
若い人たちの楽しむことを
一緒にやりましょう

(82)- 男②B

Ze bi na zhen pho mo
Ga ga tro we ngang ley
Nga choe da ga tro thoendi
Bu chung sempa ga song
Dari dina zom di
Tsangmoi dendur bey di
Chi gi chi lu la bi
Kha nyen lesha lap rung
Bu tsu rang ye wo ley
Thu gi zoe pa zhey

美しい若い男と女たち
楽しみの時
私はあなたと楽しんで
私は心から幸せです
今日ここで会うのは
ツァンモの大会があって
お互いに話をいっぱいしました
悪口もいっぱいいいました
私のほうから
本当に申し訳ないです

(83)- 女②B

Yueza tsenday bu tsu
Jikten dro lu ma ju
Re gen menchung nga da
Tam nyan choe lu jo yoe

T21:次はダニエン・バルマ（Dranyen Barma）が始まります。その前にドルジ・ゲルツェンさん。その辺にいたら、来て下さい。彼がツァンモ一歌います。

S(1)：(男子生徒飛び込み)

私は本当はロゼ（Lozey）をやろうかなと思ったけど時間がありません。日

本からきたお客さまに対して一つツァンモつくりました。

(84)- S A

Japan zhung gi la kuden	日本からきたお客様
Druk cho samten gang lu	ブータンのサムテガンという所に
Joen di ten dre ley song	来てとても縁起がいい
Lo di joen bi milam yoe ser zhu ni	またここに来るのを私たちは祈っています

S(2) : 先生から、ロゼもやってと言われたからロゼもやります。

ロゼ

Nim da ri pey gi nim lu	今日はすごくいい日だった
Ga we khazang tra mo	このきれいな部屋の中で
Kwong japan zhung gi ku drin ly	あなたたち日本からくるお客様たち
Thu gey pi suwa zhu ni in	私はあなたたちが喜ぶような話をします(以下略)

T(22) 続けて下さい。(観客による手拍子が始まる。)

(85)- 女⑤C

Khazang din a zom mi moya	この部屋の中で会っている
Nga che lotru lopen mo ya	私たち、先生と学生
Lo di je we mi lam mo ya	また会うように祈ります
Nga gi hong ley tap gey mo ya 下二行×2	私のほうから祈ってます

(86)- 男①C

Tashi trinkar pub ley mo ya	かたちのきれいな雲がかぶってきた
Meto char zim beb tay mo ya	花に小雨がおちてくる
Dey ley sazhi pei yoe mo ya	それ(花)が土地に広がってきた
Chey pi milam zhu mi mo ya	それ(花)に実がなるように私は祈ります

解釈例：すべてうまくいきますように、私は祈ります。

T(23) これで終わります。日本から来たお客様、何か話したいことがあったらどうぞ。

3.1.2.3. 全体構成

今回のツァンモ大会の構成を表1に示した。二つのグループが交互に掛け合う形となっている。全体は、大きく3部で構成される。最初はニエン・ルーによる掛け合いであり、歌(1)から(32)までが相手に対する好意的な内容が交換された。次にダ・ルーとなり、(33)から(76)までである。これらは、嘲笑や攻撃的な歌となる。最後は、譲り合いや歩み寄りの歌詞が歌われ、ダニエン・バルマとなって終了した。この合間に、教師の解説(T1~23)や歌(T14(2), T19(7))が入る。また、二人の教師による飛び入りの掛け合い(T15(3)~T18(6))、さらに、一人の生徒によるツァンモ(84)とロゼが披露された。これらはその場で即興的に作られたものである。なお、T6は、その場で参観していた筆者らに歌い掛けられたもので、これに対して筆者(伊野A)が歌い返している。

表1の備考からも判明するように、ダ・ルーの部分になると、歓声も多く、巧みに相手を攻める技法に拍手が湧いた。学校のツァンモ大会ではこうした聴衆の存在も重要な要素になっている。

教員へのインタビューによると、本来のツァンモ大会は、4つのハウスの代表者による掛け合い形式で進行する。したがって今回のように教師の説明が入るのは参観者に対する配慮と考えることもできる。いずれ

にしても、ニエン・ルーやダ・ルーなどの歌のタイプを意識させ、それらを状況に応じて適切に用いるような指導を意図していることがうかがえる。なお、歌のタイプとしては、これらの他に、テールー（Toe Lue:ほめる歌）、ガ・ルー（Gha Lue:相手を好きになる歌）、チョ・ルー（Cho Lue:自分の大変な状況を歌う歌）などがある。

3.2.1.4. 歌詞の意味内容・やりとりと旋律分類

前述したように旋律は、3種であり、これを旋律A,B,Cとして記した。生徒による86回の掛け合いをそれぞれ以下の一覧にしてみた（表2）。表1及び3.1.2.2.の歌詞と合わせて考えると次のことが指摘できる。

- ・旋律Aが22回（26%）、旋律Bが58回（67%）、旋律Cが6回（7%）であった。もっとも頻繁に歌われるのが旋律Bで次いで旋律A、そして旋律Cの順である。
- ・これまでの調査によると、旋律Aは、ティンパー（伊野2012）、プナカ（伊野他2014a）、トンサ（伊野2014b）、タシガン（メラ）（伊野2015）において、旋律Bは、ティンパー（伊野2012）、プナカ（伊野他2014a）、トンサ（伊野2014b）、権藤2015）において観察されている。これらの旋律は、ラジオ放送においても多用されており（権藤他2015）、全国的な広がりをもって歌われている。一方、旋律Cは、トンサ（伊野2012）のツァンカで聞くことができただけである。この旋律は、(11)(12)(25)(26)(85)(86)のように、ほとんどが、フレーズの最後に無意味語のmo yaが付されること、これにより2音節が付加されていること特徴である。
- ・旋律A,Bは、全体を通して用いられ、歌の性格による区別はない。対して旋律Cは、ニエン・ルーやダニエン・バルマに用いられ、ダ・ルーでは歌われていない。トンサのツァンカでは、自分自身の状況や心情を切々と伝える「まわりうた」でこの旋律が用いられていた（伊野他2014b）。これらの歌は、チョ・ルーに分類されるものと思われるが、旋律と詩、地域性の関係については、今後調査を進め、検討を重ねる必要がある。
- ・大会の参加者9名の歌った回数は、それぞれ8回～12回である。個人によって用いる旋律の傾向が異なる。例えば、女①は旋律Bのみ、男②は旋律Aのみで通した。対して女③は旋律A,B,男①は旋律B,Cなどから選択している。また、3つの旋律を用いたのは、男④のみであった。
- ・教師による歌の例示は、合計7回あったが、旋律Aが6回、旋律Bが1回であった。
- ・その場で歌をつくって歌うことも行われた。この場合、二つのやり方が見られた。一つは、基本となる歌詞の一部を入れ替えるケースで、例えばT6に見られる。T6の歌詞と元歌を比較してみよう。（ ）内が元歌で、(1)・女①Bに見られるように、全国各地で歌われている（伊野2012、伊野他2014）。

T6(1)B

Choe ni che gel japan	あなたは外国日本
(Choe nijamtshoo la faka	あなたは海の向こう側にいます)
Nga ni drukgi mi ser	私はブータン人
(Nga ni jamtshoo la tsuka	私は海のこちら側にいます)
Ley da mi lam yoep ley	縁があったので
(Lay dang mi lam yoe na	もし運命があるのなら)
Sam tey gang lu zom chi	サムテンガンで会いました
(Jhamtshoo bu lu zom sho	海の真ん中で会いましょう)

もう一つのケースは、全体を新しく作るものでこれは飛び入りの生徒（84）の歌に見られる。

表2 掛け合い一覧

男女別番号	旋律類型			計	
	A	B	C		
女	①	0	10	0	10
	②	1	7	0	8
	③	5	3	0	8
	④	1	7	0	8
	⑤	0	6	3	9
男	①	0	9	2	11
	②	9	0	0	9
	③	0	12	0	12
	④	5	4	1	10
	フロア	1	0	0	1
計	22	58	6	86	
%	26	67	7	100	

楽譜 1 旋律 A



楽譜 2 旋律 B



楽譜 3 旋律 C



3.1.2.5. 評価

今回観察したツァンモ大会に対する学校側の評価や勝敗の決定は無かった。これは、このツァンモ大会が、日本からのゲストのために特別に組んだもので、通常のツァンモ大会とは異なった形で行われたためである。サムテガン・セントラル・スクールにおける通常のツァンモ大会では、男 2 名、女 2 名、計 4 名が審査を行う。ゾンカ語の教師やツァンモに詳しい地域の人々などである。歌い手は 4 つのハウスグループからそれぞれ 2 名の代表者が選出されるが、これらはさらに 2 つのハウス毎にまとめられ、2 グループの対抗戦が組まれる。例えば、タクとシンが同じグループでそれぞれのハウスから 2 名計 4 名の選手、チュンとドゥックが同じグループでそれぞれのハウスから 2 名計 4 名の選手といった構成になる。歌の掛け合いは、タクの返事をチュンが、チュンの返事をシンが、シンの返事をドゥックが、ドゥックの返事をタクが行う。これが 2 回なされる。そして、この取り組みをそれぞれニエン・ルー（3 回）、ダ・ルー（3 回）、ダニエン・バルマ（3 回）の順で掛け合っていく。最終的に、出場したグループと個人に対して評価が行われる。

審査員には、審査票が配付され、そこに記された審査規準により評価が点数化され、その合計により成績が決定する。表 4 に示したのは、実際の審査票の一部である。点数もすべて記入してある。もともとはゾンカ語で示されたものをペマ・ウォンチュクが英訳し、伊野が和訳している。

審査票左欄から見ると、まず、参加者の氏名、学年、組が示され、次に審査規準と配点が書かれている。これらは、「言葉の意味の深さ：5 点」「発音：3 点」「旋律：2 点」「ダ・ルー/ニエン・ルーへの応え方：4 点」「自信：3 点」「創作：5 点」「行為と度胸：3 点」に分けられ、右欄には、合計点を記入するようになっている。

このようにツァンモの評価は、ツァンモという行為に必要な能力の全体を網羅して行われるが、大別するならば、相手との意味のある適切な受け応え（意味のある言葉をどれだけ伝えることができるか、相手の投げかけに対してどれだけ適切な内容を反応することができるか）、表現力（発音や旋律）、新しくつくり出す

表 3 審査票（部分）

name/class/ section of student 氏名/学年/組	meaningful of word 言葉の意味 の深さ 5	pronunciation 発音 3	melody 旋律 2	answer to dra/nyen ダ・ルー/ニエン・ ルーへの応え方 4	confidence 自信 3	create new 創作 5	action and courageous 行為と度胸 3	total point 合計
a XA	3 3	2 2	1 1	3 3	1 2	2 2	2 2	29
b XA	2	1	1	2	1	2	1	10
c XB	3	1	1	2	2	3	3	15
d XB	4 4	3 3	2 2	4 4	3 3	5 4	3 3	47
e XC	3 3	2 1.5	1 2	3 2	2 1	3 3	2 2	30.5
f XC	3	2	2	3	2	3	2	17

力（創作）、自信をもった受け応え（自信、態度、度胸）ということができよう。なお、これらには、点数で重み付けがなされており、特に意味ある言葉を伝えること、新しく創り出すこと、適切な受け応え、が重視されている。ツァンモ大会においては、これらを即座に行う力が求められていると言える。

3.2. 他校の取り組み：ケルキ・ハイスクール (Kelki Highschool)

ここでは、補足的に首都ティンブーにあるブータンの伝統校として知られている私立高校ケルキ・ハイスクールにおける取り組みについて、実践の中心となっている教師ガワン・ナムゲル (Ngawang Nyamgyel) へのインタビュー⁴⁾をもとに紹介する。ガワン・ナムゲルは現在30歳、若い頃から僧職にあり、20歳まで、シムトカゾンやティンブーゾンで修行を続けた。その後二つのパフォーマンスグループに入団、そこで10年を過ごし、仮面舞踊チャム (Cham) を始め伝統的な歌や踊りを習得する。高級ホテルアマンコラ (Amankora) や外国での公演経験もある。現在は高校で歴史、ディグラムナムジャ (Driglam Namzha, 礼儀作法) を教えている。

ケルキ・ハイスクールでは、BBS (Bhutan Broadcasting Service, ブータン国営放送) を通して、生徒のツァンモ大会をテレビ放送した。放映の目的は、放映することで、他の高校を始め全国民にツァンモの存在への気づきを促がし、学校教育での普及を促すことにある。ツァンモ大会へ向けた取り組みは、以下の通りである。

まず800人の全校生徒に夏休み前にそれぞれの家でツァンモを集めてくるよう課題を出した。生徒はティンブー周辺の村の出身者も多く、両親や祖父母等からツァンモを習い収集することとなる。その後各クラスでツァンモ大会を実施する。その様子を見て上位50人を選出する。審査規準は、feeling 情感, delivery 受け渡し, イントネーション, 発音, 返事のうまさなどである。

次にその50人をツァンモで対決させ、30人に絞り、最終的には21人までにした。この人数は、3つのハウス (エトーメトー, シュカル, ツェゲンメトー：いずれも花の名前) から各7人選出したためである。このグループのファイナルをテレビ放映した。審査員は、ツァンモに造詣が深い有名なタレントや僧に依頼した。大会の際、生徒には、30から50のツァンモを暗唱するように指導している。古くから歌われている詩をきちんと習得することが目的である。なお、ツァンモと同時にロゼの大会も行う。

こうした学校での取り組みにより、生徒は地域の伝統的なツァンモを掘り起こし、それらの価値に気付いていく。結果的に伝承活動へと結びつき、他校や地域のへの拡がり期待される。

4. 学校教育におけるツァンモ伝承の意義と課題, 方法論

以上、ブータンの学校教育における伝統文化としてのツァンモの取り組みについて記述してきた。学校側の説明によると、GNHの一環としても文化の位置づけは重要であり、課外活動においても重視しているということであった。また、昨年は、GNH事務所による文化継承をテーマとしたワークショップも実施されている。こうした中で多くの学校がツァンモ大会をはじめとした行事を実施しているという。しかし、統一された共通のカリキュラムをもっているわけではない。

サムテガン・セントラル・スクールのツァンモ大会では、土曜日のクラブ活動、年間行事におけるクラスやハウスの対抗合戦、歴史や国語としてのゾンカ語の授業での扱い、図書館等での生徒の自主的な調べ学習や家庭での家族からの聞き取りといった活動が集約されて成立している。またおそらくは国営放送局のBBSや民間放送局のクズ (KUZOO) 放送によるツァンモのラジオ番組も間接的に影響している。例えば、BBSでは、毎週水曜日の9:30-10:30、土曜日の10:00-10:30にツァンモ・テンミ (Thangmo Thenmie: ツァンモを歌う) という番組を設けている。また、18:00-18:30の子ども番組では、子どもが好きな歌を歌ってくるが、3歳でツァンモを歌ってくる子もいるという⁵⁾。クズ放送では、土曜日の10:00-11:00の時間帯に「ツァンモの時間」が放送されているが、そこではブータン各地からの電話によるツァンモの声を聞くことができる (権藤他2015)。また、ケルキ・ハイスクールのように、学校と放送とを結び付けて伝統文化を勢いづけようとする試みも見られるようになってきた。家族や友人が集まって遊ぶ伝統的な場は消えつつある。しかしツァンモは現代という新たな場の中で、その形を変えつつも息づいている。

ツァンモが形を変えるという点については、ここで立ち止まって考える必要があるだろう。これまでの調査により明らかになっているツァンモの遊び方には、いくつものやり方がある。それには、ツァン (Tsang:

小枝)モ(Mo:占う)とあるように、まずは小枝による占い遊びがある。この場合、チャカ(Chaka:嗜好品のドマ入れ)やドプチュ(Dopchu:腕輪)などの品物を前に、それらを歌いながら小枝で指し、詩の内容によって、持ち主について占ったり予言する、あるいはペアをつくって二人の相性や縁について占いをしていく。こうした性格の遊びは、ツァンモ・モタブニ(Tsangmo Motapni)、ツァンモ・ナムケ・チュニ(Tsangmo Namkey Cheni: Namkeyは「縁」、Cheniは「合う」)などと言われる(伊野2012)。また、トンサ県ツァンカ村では、レトロ・ドムニ(Lathro Domni: laは前世の行為、因果、throは現在、lathroは縁・因果、domniは合う、一緒になる)といった歌占いの形が見られるとともに、参加者一人一人が自分の歌いたい歌詞を歌い回して歌い、その歌詞により、聞き手が歌い手の状況や心情、人柄や人生を推し量っていくやり方も見られた(伊野2014b)。

ツァンモでは、二人あるいは二つのグループの掛け合いによる遊び方も一般的である。これらの中にはツァンモ・チュニ(Cheyeni:闘い)という呼び名に見られるように、嘲笑的な言い回しや誇張等の修辞法により相手を負かしてしまうものがあったり、必ずしもそうした内容だけではなく、ニエン・ルーを歌い相手とのつながりを楽しむものもあったりする。時には男女の掛け合いにより結ばれることもあったという(伊野2012)。

占いや予言、あるいは闘争や融和という行為に象徴されるように、ツァンモの行為においては、歌や歌詞によるある種の人智を超えた力への信仰のようなものの存在が前提となっている。そこには、宗教的な背景をもとにしたブータンの人々の思想や人生観、生き方が見え隠れするが、こうしたことは、ツァンモのもとの発祥がチベットで、6代ダライ・ラマが歌ったという話⁶⁾やチベットのU-Tsangというところから伝わった⁷⁾、あるいは、15世紀のチベットの僧侶ドクパ・キンレイ(Drukpa Kunley)の歌による布教活動(糸永1986, p.72)との関係性といった事柄を考え合わせると、ツァンモがチベットからの仏教的な信仰の背景を強く持ちつつ、その歌の意味内容や思考法がブータンの人々の生活に深く根付いてきたことがうかがえる。人々は、まさに日常的なツァンモの遊びを通して、生き方や行動様式を学んできたとも言える。

このように多様な様相を示すツァンモであるが、今回の学校での調査で見られたのは、いずれもツァンモ・コンペティションである。これらは、互いに相対するグループに分かれ次々と歌を掛け合うもので、形態としてはツァンモ・チュニの形をとっている。その構成は、ニエン・ルーに始まりダ・ルーとなり、最後は、相互に譲り合う形で終了するように指導されていた。対抗合戦のため、審査員も選出され、あらかじめ設定された審査規準をもとに点数がつけられる。そしてより多くの点数を獲得したグループや個人が勝利者となっていく。また、ツァンモの場においては、対抗合戦を楽しむ聴衆の存在が不可欠となっている。これまでにはさほど気にもされなかった第三者が重視され、そこに「見る者」と「見られる者」といった近代的な関係性が立ち現れてくる。そして結果的に、学校において、ツァンモ・ツェニのような対抗戦が隆盛となる一方で、ツァンモ・モタブニやツァンモ・ナムケ・チュニをはじめとした、占いや予言的な遊びは顧みられることなく現状が進んでいる。こうしてツァンモの持っていた双方向性や闘争性は維持されるものの呪術性は薄められていくことになる。

もとより、民族音楽や民俗芸能が時代や産業構造の変化の中で、その機能を新たにするのは不思議なことではない。ツァンモの成立は明らかではないが、仮にドクパ・キンレイの時代を想像してみたところで、その様相や機能は現代のブータン人の言うところのツァンモと異なるであろうことは容易に想像できる。音楽や芸能そして文化は変容する。放牧という日常の場を失ったツァンモがその担い手とともに学校という日常で生きようとした時、自らを変容せざるを得ないのも当然である。こうした結果、ツァンモはブータンの近代化の中で、その場を牧草地からステージに移し、コンペティションという新たな形の中で息づいている。このような変化は、日本においては秋田県の横手市や美郷町に伝承される掛け合い歌が、「掛唄大会」として今も引き継がれていることとある意味軸を一にしている。

文化教育、音楽教育といった点から、こうしたツァンモの変容をどのように捉えるかという問題は重要である。近代化の中において変容した音楽をそのまま受け入れることも意味の無いことではないが、その音楽において質的変換があったとして、それが、人間形成において、重要な事柄であると認識されるならば、音楽教育はその点をみすみす見逃すわけにはいかない。例えば新潟盆踊り歌の場合、民謡としての新潟甚句になる過程において、踊り方は一本化され、地方の演奏、位置は固定化する。囃子言葉も歌い手同士で交わ

され、歌う人・踊る人は分化し、境界が明確になる。歌は踊りとの関係において独立性を保ち、卑猥性を排除した「郷土芸能」作品として、例えば踊りを伴わない新潟甚句としての存在も可能になった。歌はステージで歌われるようになり、もともとあった「会話の方法」として歌の有り様は消えていった（伊野2009）。したがって、近代化の波を経た伝統音楽の有り様については、その教育的な価値の視点から常に注視する必要がある。特に明治以降、「与えられた環境があって、その音楽を聴く、という構造」（安田2008 p.78）がつくり出されてきた日本の音楽環境から見ると、ツァンモの教育的価値は日本人にとって当のブータン人以上に大きいものがある。こうした点から、学校がツァンモを取り入れる意義や方法論について、日本の状況とも対照したうえで、整理しておきたい。

- ・学校の文化活動が重視され、ツァンモをはじめとするブータンの文化が学校の組織づけるカルチャー委員会を軸に計画的に学ばれている。これにより、土曜日のカルチャークラブの活動のみならず、ツァンモ大会をはじめ、年間を通じてクラスやハウスの生徒全員が文化活動に参加するようになっている。こうした組織のあり方は、日本の学校との大きな相違点である。

- ・リクサルをはじめ、ブータンにおいても新たな音楽の影響はきわめて大きい。ツァンモはコンペティションという形の中で、双方向性、即興性、詩形・詩文の共有といった伝統的な性格が継承されている。

- ・学校教育に取り入れられることにより、意図的な教育の営みとして、ツァンモの由来、価値、種類、遊びの方法、詩文の学習や解釈法、旋律や歌の類別、といったことが整理され伝えられている。また、こうしたことから人々のものの見方・考え方を学ぶ。これはまたブータン人のアイデンティティの形成につながるものである。

- ・音楽的な能力として、相手の歌の内容を理解し即座に適切な詩を用いて歌い返す力、即興的に言葉をつくり節のせて自分の気持ちを伝える力、即興でヴァリエーションを作っていく力、歌でコミュニケーションする力が養われている。

- ・歌う行為は、それにつながる様々な要素との関連性の中で全体的に学ばれる。すなわち、歌は歌唱力、表現力だけで評価されるのではなく、歌を新しく作り出す力に加え、相手との意味のある適切な受け答えや自信をもった受け答えなどが評価される。またこれらは遊びとして実際の生活に直結するものとして活用できるようになっている。

【引用文献】

糸永正之(1986)「ブータンの「相聞歌」—交互唱による対面伝達行動の予備的研究—」『学習院大学東洋文化研究所報告』No.21, 学習院大学。

伊野義博(2009)「消えた歌—新潟盆踊りの軌跡—」『音楽教育学の未来 日本音楽教育学会設立40周年記念論文集』日本音楽教育学会, pp.291-301.

伊野義博(2012)「ブータン歌謡ツァンモー掛け合いと占いの諸相—」『民俗音楽研究』第37号, 日本民俗音楽学会, pp.1-12.

伊野義博, 黒田清子(2014a)「ブータンのツァンモ, 掛け合いと占いの諸相—プナカにおける調査から—」『民俗音楽研究』第39号, 日本民俗音楽学会, pp.37-48.

伊野義博, 尾見敦子, 黒田清子, 権藤敦子, 山本幸正, Tshewang Tashi, Pema Wangchuk(2014b)「ブータン歌謡ツァンモの実態—トンサ県ツァンカ村とタンシジ村の場合—」『新潟大学教育学部研究紀要』第7巻第1号, pp.81-99.

伊野義博, 加藤富美子, 黒田清子, 権藤敦子, 山本幸正, 娜布其(2014c)「『掛け合い歌』の教育学Ⅰ」『音楽教育学』第44巻第2号, 日本音楽教育学会, pp.90-94.

伊野義博, 黒田清子, 権藤敦子, Pema Wangchuk(2015a)「ブータン歌謡カプシューの実態—タシガン・メラ村の場合—」『新潟大学教育学部研究紀要』第7巻第2号, pp.335-359.

伊野義博, 黒田清子, 権藤敦子, ペマ・ウォンチュク(2015b)「ブータンのあそび歌 ツァンモとカプシュー—トンサとタシガンにおける調査から—」『民俗音楽研究』第40号, 日本民俗音楽学会, pp.1-12.

黒田清子(2012)「ブータンの国民総幸福 (gross national happiness) と自文化観」『金城学院大学論集』社会

科学編第8巻第2号, pp.19-37.

黒田清子(2014)「ブータン文化の諸相—掛け合い歌ツァンモ (tsangmo) の歌詞からの考察—」『金城学院大学論集』人文科学編第11巻第1号, pp.193-220.

権藤敦子, 伊野義博, 黒田清子, Pema Wangchuk(2015)「歌唱における学習過程の再考—ブータン歌謡ツァンモの調査をてがかりに—」『初等教育カリキュラム研究』第3号, 広島大学大学院教育学研究科初等カリキュラム開発講座, pp.23-35.

安田寛『奈良教育大学ブックレット 第2号 日本の唱歌と太平洋の賛美歌—唱歌誕生はなぜ奇跡だったのか—』東山書房, 2008.

Clements, William M. 2006 "The Greenwood Encyclopedia of World Folklore and Folklife: Volume 2 Southeast Asia and India, Central and East Asia, Middle East" Greenwood Press. pp.106-110

Tadashi Suhihara, Tshewang Tashi, 2010 "Bhutan Apa Ama Exercise-Dance" Paro Collge of Education, Bhutan
Samtengang Central School, 2015 "Towards Excellence, Dedicated to 60th Birth Anniversary of Fourth Druk Gyelpo, School Diary 2015" Samtengang Central School, Wangdue, Bhutan

本研究はJSPS科研費26301043の助成を受けたものです。

注

¹⁾ <http://smss2011.blogspot.jp/search?updated-min=2013-01-01T00:00:00-08:00&updated-max=2014-01-01T00:00:00-08:00&max-results=1> (2015.10.23 閲覧)

²⁾ Lozey: 詩的な言葉を直喩や隠喩や象徴などを伴い装飾的に表現しつつ、口語体で相手と言い合う民間文芸のこと。Clemenys, William M. (2006) p.108.

³⁾ Policy Document, SMSS, <http://smss2011.blogspot.jp/> (2015.10.25 閲覧) 前掲注¹⁾に同じ。

⁴⁾ 2015年9月20日, ティンブーのレストラン, ガケイ・ハウス (Gakey House) にて実施。

⁵⁾ BBSのダワ・ツェリン (Dawa Tshering) へのインタビューによる。2015年9月21日, ティンブーのホテルガギル (Hotel Gakyil) にて。

⁶⁾ ブータンの音楽家, 音楽学者であるジグミ・ドゥッパ (Jigme Drukpa) へのインタビューによる。2015年9月20日, ティンブーのレストラン, ガケイ・ハウス (Gakey House) にて実施。

⁷⁾ 前掲注⁵⁾。